

令和 2 年度決算に係る

定期監査
決算審査
資料

令和 3 年 7 月

令和新时代創造本部 広報課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	決算資料（総括表）	10 頁
7	事業別実施状況調べ	11 頁
8	予備費の充用調べ	14 頁
9	繰越関係調べ	14 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱調べ	14 頁
11	現金の取扱状況	14 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
12	財産に関する調べ	14 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	14 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	15 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	15 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	15 頁
17	備品の処分状況調べ	15 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	15 頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
19	貸付金等状況調べ	15 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	15 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	3.4.1 現在	2.4.1 現在	
定員	12	12					12	12	
現員	(2) 13	(2) 13	() 1	()	()	()	(2) 14	(2) 13	派遣元：南部町、休職中の職員
過不足(Δ)	1	1	1				2	1	休職・育休の職員に係る加配
臨時的 任用職員									
会計年度 任用職員	2	2					2	2	事務1（県政記者室配置）、広報専門員1

4 役付職員の調べ

(令和3年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
広報課長	(兼) 田中 祥一	1	3	新型コロナウイルス感染症対策本部事務局新型コロナウイルス感染症対策総合調整課参事 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム参事 新型コロナウイルス感染症対策本部事務局人権啓発チーム参事 危機管理局参事 福祉保健部参事
課長補佐	福井 涉	0	3	
課長補佐	(兼) 中倉 秀将	1	9	生活環境部環境立県推進課 星空環境推進室課長補佐
課長補佐	川口 愛	0	3	
課長補佐	森田 泰司	2	3	
課長補佐	(兼) 北根 尚徳	1	0	新型コロナウイルス感染症対策本部事務局人権啓発チーム課長補佐

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳												
		国庫支出金	起債	その他	一般財源									
県政だより広報費	42,699				42,699									
将来ビジョン	—													
令和新時代創生戦略	—													
政策項目	—													
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県政情報、地域の歴史・文化、頑張っている人の取り組みなどのさまざまな情報をタイムリーに、わかりやすく各世帯にお届けする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○「とっとり県政だより」を毎月1回発行し、市町村を通じて各世帯に配布するほか、金融機関、大手スーパーやコンビニ等に配架した。また、ウェブ（とりネット・スマートフォンアプリ「マチイロ」）上でも閲覧できるようにした。</p> <p>○6県と広報紙の紙面交換を実施し、他県の広報を行うとともに、ウエルカニキャンペーン、サイクリングロードを県外にPRした。(6県：兵庫県、島根県、岡山県、広島県、徳島県、鹿児島県)</p> <table border="1" data-bbox="256 893 1158 1099"> <tr> <td rowspan="4">広報紙 「とっとり県政だより」</td> <td>発行回数</td> <td>毎月1回（1日発行）</td> </tr> <tr> <td>規格</td> <td>A4判、8頁</td> </tr> <tr> <td>配布部数</td> <td>197,200部/月</td> </tr> <tr> <td>配布先</td> <td>各世帯配布</td> </tr> </table> <p>イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 紙面構成やレイアウトの見直しを行い、限られた紙面の有効活用に努めて、充実した紙面となるよう改善に取り組んだ。また、県民の関心が高い新型コロナウイルス感染症に関する情報を紙面に掲載しつつ、リアルタイムで更新される情報はウェブサイトへ誘導する方法でお知らせし、創意工夫しながら広報に取り組んだ。</p> <p>ウ 成果及び効果 県政だよりに寄せられた読者からの意見（R2年度：11,914件）によって紙面に対する評価や県民の興味・関心を把握し、県政情報を親しみやすく、分かりやすく知らせることができた。</p> <p>エ 課題 分かりやすく県民の皆さんに読んでいただける広報紙づくりに取り組むとともに、ウェブやSNSといったデジタル媒体や新聞広報との役割分担、相互連携などを通じた新時代の県政だよりのあり方を検討していく。</p>						広報紙 「とっとり県政だより」	発行回数	毎月1回（1日発行）	規格	A4判、8頁	配布部数	197,200部/月	配布先	各世帯配布
広報紙 「とっとり県政だより」	発行回数	毎月1回（1日発行）												
	規格	A4判、8頁												
	配布部数	197,200部/月												
	配布先	各世帯配布												

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
新聞テレビ等広報費	112,191				112,191
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
全庁の広報テーマを集約し、それぞれの広報内容とターゲットを見極め、新聞、テレビ、ラジオ等、各種広報媒体の特性に応じた計画的・効果的広報を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
県の施策や催事等を適期にわかりやすく県民へ広報するため、広報媒体の特性を考慮した計画的なテーマ選定と情報の受け手を意識した表現(わかりやすい文章、レイアウト等)の工夫に取り組んだ。					
媒体	区分	概要			
新聞	鳥取県からのお知らせ(全5段)	日本海新聞、山陰中央新報(各毎月第2・4木曜日) ＜掲載テーマ＞イベント、各種試験の案内、季節に合わせた啓発 など			
	県政テレビ番組案内	日本海新聞(番組放送日、35回)			
	新聞広告(半5段又は全5段)	日本海新聞(47回)、山陰中央新報(8回)、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞(各7回) ＜掲載テーマ＞各相談窓口・支援制度・イベントの案内、災害への備え など			
テレビ	県政テレビ番組「マルっと！とっとり」	山陰放送 毎週土曜日 午後9時54分～(4分番組、35回) ・コンパクトに旬の県政情報をお知らせする ・聴覚障がい者向けに字幕と手話を挿入(全回) ＜放送テーマ＞新型コロナウイルス感染症予防啓発、山陰海岸ジオパークトレイル、ICTを活用した教育、県内のワーケーションの取組 など			
	スポット広告(15秒または30秒)	日本海テレビ、山陰放送、山陰中央テレビ(各延べ430回放送) ＜放送テーマ＞新型コロナウイルス感染症啓発(予防、心の相談窓口、デマ対策等)、食中毒予防、土砂災害への備え、自転車の交通安全 など19テーマ			
ラジオ	スポット広告(20秒)	山陰放送(延べ220回放送)、FM山陰(延べ440回放送) …22テーマ実施			
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体の特性を考慮した計画的なテーマ選定と情報の受け手を意識した表現(わかりやすい文章、レイアウト等)の工夫に取り組んだ。 ・県政テレビ番組は、従来からの視聴者や新たな視聴者を取り込むため、メールやソーシャルネットワークサービス(LINE、Facebook、Twitter)を活用したPRを行った。 					
ウ 成果及び効果					
新型コロナウイルス感染症の予防啓発や各種支援策、相談窓口等の周知、洪水・土砂災害・食中毒・熱中症への注意喚起、各種相談窓口の案内など、その広報内容・対象に相応しい広報媒体を活用して、県民へ周知を図った。					
県政テレビ番組は安定した高視聴率を維持(平均12.7%)しており、番組モニターからは「短い時間の中でポイントがわかりやすくまとめられている」、「関心を持つきっかけとなった」などの意見をいただいている。					
エ 課題					
広報すべき事項に漏れがないように、また、効果的に発信するように、各部局広報担当者会議等を通じ、広報項目登録やパブリシティの実践等の徹底を引き続き取り組む必要がある。					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
インターネット広報費	9,828				9,828
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>県公式ウェブサイト「とりネット」の管理運営や、所属への技術的支援等を通じて、ウェブアクセシビリティ(※1)の維持・向上を図るとともに、SNS等のソーシャルメディアを活用して、適時適切に本県のような情報を県内外に発信する。</p> <p>※1 高齢者や障がい者を含めて、誰もがウェブページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること</p>					
(イ) 事業の実施状況					
<p><とりネット関係></p> <p>○ウェブアクセシビリティの維持・向上のため、ページのチェック、修正等を行うとともに、所属への指導・注意喚起を行った。</p> <p>○ウェブページの編集、運用、改修等に関する所属からの相談・問い合わせに対応した。</p> <p>○新型コロナウイルスの影響でウェブページ編集等に関する集合研修は中止したが、マニュアルやDBのQ&Aの充実により、編集方法やウェブアクセシビリティの確保について、周知を図った。</p>					
<p><ソーシャルメディア等活用関係></p> <p>(1) ツイッター、フェイスブックなどのソーシャルメディアを利用し、鳥取県のイベント情報、注目情報などをリアルタイムで発信した。</p>					
<p>【ツイッター(トリピー)】 ※令和3年3月31日時点</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・ フォロワー数 35,456人 (前年比 +1,992人) ・ ツイート回数 2,320回 (前年比 -245回) ・ いいね数 183,179個 (前年比 -23,179個) ・ リツイートされた回数 62,154回 (前年比 -15,993回) 					
<p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの告知依頼が減り、投稿回数が増える一方、感染予防の発信と平行し、明るい話題(ポケモン、ナウル共和国など)を企画・発信することで、いいね・リツイート数の平均値は前年より上がった。</p>					
<p>(主な注目を集めたツイート)</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・7月 ジャニーズの京本大我さん三徳山へ(テレビ) (1,694いいね 719リツイート) ・9月 ポケふた全市町村設置 (6,658いいね 6,494リツイート) ・2月 鳥取のクラブハウス(かっこ館) (1,225いいね 497リツイート) ・2月 ナウル「スタバはないけどスナバはある」 (4,459いいね 902リツイート) ・3月 トリピーが鳥取砂丘でソリに乗る (1,440いいね 389リツイート) 					
<p>【フェイスブック】 ※令和3年3月31日時点</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・ フォロワー数 5,117人 (前年比 +634人) ・ 投稿記事数 400回 (前年比 -132回) ・ 記事へのいいね数 41,297個 (前年比 -18,836個) ・ シェア数 2,185回 (前年比 -603回) 					

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で他課等からのイベントの告知依頼が減り投稿回数が減少する一方、関心の高い新型コロナウイルスの啓発および県民限定のお得なサービスをこまめに紹介したことで、フォロー数が前年より増加した。

(主な注目を集めた投稿)

- ・5月 マスク購入券を鳥取県内全戸に配布 (583いいね)
- ・6月 天然岩ガキ「夏輝」初出荷 (953いいね)
- ・7月 アマビエどらやき誕生 (446いいね)
- ・12月 親しき仲にもマスクあり 鳥取県からのお願い (423いいね)
- ・12月 日本料理淳の抹茶プリン(産業成長応援事業) (322いいね)

(2) YouTubに動画を掲載するとともに、掲載動画をとりネット内に開設している「とっとり動画ちゃんねる」で集約して紹介した。

【Youtube(とっとり動画ちゃんねる)】 ※令和3年3月31日時点

- ・ 配信動画本数 264本 (前年比 +208本)
- ・ 動画再生回数 約1,968千回 (前年比 +308千回)
- ・ チャンネル登録者数 16,379人 (前年比 +3,747人)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン研修・講習の増加、感染予防や運動不足解消等の啓発動画の配信依頼が多く、配信動画本数が大幅に増加した。一方、食・観光の魅力を発信する質の高い動画を定期的に配信でき、昨年度よりも新規チャンネル登録者数が増加した。

(令和2年度 Youtubeの再生回数)

- ・ 今日からできる手話講座 (平成26年4月公開) (218,512回)
- ・ 除雪車を間近から撮影！人の背丈ほどの雪を春除雪 (平成28年3月公開) (74,000回)
- ・ 松葉がにの脱皮早回し (平成25年12月公開) (62,709回)

(主な注目を集めた新規動画の再生回数)

- ・ 4月 うちで運do！～空手編～ (16,135回)
- ・ 6月 消防士に、なりたい～鳥取県消防学校～ (19,227回)
- ・ 8月 ウイルスに感染した！ハッキングされた！嘘の警告画面から始まる「サポート詐欺」って？ (8,355回)
- ・ 11月 鳥取の地魚を食べよう！「松葉がに(ズワイガニ)のゆで方」 (10,364回)
- ・ 3月 Discover Tottori～三徳山 三佛寺～ (209,434回)
- Discover Tottori～鳥取砂丘&アクティビティ～ (100,249回)

イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

○平成30年度決算定期監査や、県民等から「ウェブページの管理・更新が不適切。」との指摘を受けたため、令和元年度以降重点的に改善を進めているところである。令和2年度についても、毎年1回の全庁一斉点検、所属に対する不適切事案の注意喚起、不適切事案を覚知した場合における指導等、従前の取り組みを継続するとともに、以下の点に取り組んだ。

- (1) 「主な不適切事案及びその再発防止策」をまとめ、注意喚起を行った。
- (2) 不適切事案の指導について、従前は、主に電話で担当者のみに対して行ってきたが、メールで所属代表メール宛に指導を行い、課員全員に対しても注意喚起の効果が波及するように改めた。

ウ 成果及び効果

<とりネット関係>

○平成28年度以降、ウェブアクセシビリティに関するJISに基づく試験を実施しており、令和2年度も県ウェブアクセシビリティ方針で目標に定めるレベルAA(※2)に準拠した。

※2 ウェブアクセシビリティJISの達成基準で、高い方からレベルAAA、AA、Aの3段階。総務省のガイドラインでは、公的機関に対してレベルAA準拠を求めている。

○令和元年度のトップページのアクセス数は約624万ページビューであり、人口1人当たりアクセス数は、平成29年度以降、全国第2位を維持している。

<ソーシャルメディア等活用関係>

新型コロナウイルス感染症に関する投稿に注目が集まり、感染予防及び意識啓発に寄与した。また、外出制限中に楽しめるストレッチや景観のイメージ動画の再生回数が伸びるなど、ニーズに応じた発信を行うことができた。

エ 課題

<とりネット関係>

- 令和元年度以降、集中的に不適切事案の是正を行ってきたところであるが、依然不適切事例が散見されるところである。所属に対する注意喚起・指導等、従前の対策を継続するとともに、マニュアル・Q&Aを充実させたり、集合研修を動画化して、いつでも研修を受講可能にすることなどにより、不適切事案の是正を進めていく。
- 社会のデジタル化が進む状況において、広報内容について、スマートフォン等の携帯通信端末での閲覧を意識した内容へと転換することを目指しており、スマートフォン対応の強化を図ることが必要。

<ソーシャルメディア等活用関係>

ソーシャルメディアの活用により情報を一気に拡散させることができる一方、内容により思わぬ「炎上」などのリスクもある。広報担当者においては、伝えたい情報により投稿手段を適切に選択するとともに、的確かつ受け手の目線に立った表現とすることが必要であり、スキルの向上が常に求められる。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
とっとり情報発信費	58,164				58,164
将来ビジョン	力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る				
令和新時代創生戦略	-				
政策項目	-				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
全国での鳥取県の認知度・好感度向上のため、年間を通じマスメディア等を活用した計画的な露出を図り、タイムリーかつ効果的な県外への情報発信を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
庁内関係課と連携して、テレビ・雑誌・インターネット等のメディアを通じた県外向け情報発信を実施した。					
①基幹的情報発信					
年間を通して首都圏を中心としたメディアに対してパブリシティ活動を行い、番組制作・雑誌等への掲載を働きかけるとともに、イメージ動画を制作しSNSを活用して全国へ情報発信した。					
前年度に債務負担行為を設定し、年度当初までに業者選定、契約手続を完了して、年度当初からの切れ目のない露出を図った。					
〔媒体等〕					
<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター（ウエルカニキャンペーン、二十世紀梨、松葉がに、鳥取和牛、温泉、キャンプ場、星空舞、ストレスオフランキング、コワーキングスペースほか） ・ニュースリリース（ポケふた全市町村に設置完了、日本酒の日～釈由美子さんが鳥取のお酒をお酌～、松葉がに漁解禁、ガンバレルーヤ蟹取県） ・雑誌（一個人、Mono Master各2回） ・動画制作（鳥取砂丘とアクティビティ、三徳山、砂丘らっきょう花畑、倉吉白壁土蔵群、松葉がに水揚げ、ベニズワイガニ水揚げ） 					
②機動的運用型情報発信					
突発的な発信テーマに随時対応するとともに、交渉による割安な媒体等を利用してタイムリーかつ強かに情報発信を展開した。					
〔主な実績〕					
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ朝日「グッド！モーニング」・フジテレビ「国分太一のお気楽さんぽ」「めざましテレビ」、Instagramライブ配信、ユーチューバー動画、動画広告 ・新型コロナ感染予防啓発動画を制作し、とりネットやテレビCM、SNSを通じて配信（「おる・出んウィーク」、「医療従事者への応援メッセージ」、「大学生向け会食ルール」、「親しき仲にマスクあり」、「もし体調がおかしいと感じたら・もし陽性と判定されたら」ほか） 					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
新型コロナウイルスの感染拡大により、首都圏メディアを通じた発信が制限される中、SNSや動画を活用した発信を強化した。					
ウ 成果及び効果					
メディアの最も有力な情報源であるニュースレターやニュースリリースを中心にパブリシティ活動を実施。季節毎のタイムリーなニュースや、人気の高いドラマロケ誘致など、時機に応じたメディア露出を図り、県の魅力度や認知度の維持に貢献している。					
エ 課題					
○部局横断的な素材（報道価値のあるもの）が不可欠であり、関係課との情報共有や市町村からの情報収集に努め、首都圏マスメディアを有効に活用した県外・国外への「とっとり情報」の発信を随時展開する必要がある。					
○新型コロナウイルスの感染拡大等、通常の情報発信ができない状況下における効果的な発信方法を検討する必要がある。SNSや動画を使ったPRIに一定の効果。今後も更に力を入れていきたい。					

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
新型コロナウイルス克服県民運動推進事業	3,254	3,000			254
将来ビジョン	—				
令和新時代創生戦略	—				
政策項目	—				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
新型コロナウイルス感染が拡大している状況を踏まえ、感染予防及びクラスター発生防止のための正しい行動・知識等、県民一丸となり新型コロナを克服していくための広報を一層強力に行う。					
(イ) 事業の実施状況					
福祉保健部、人権局等関係部局と連携し、新型コロナ克服のための施策の周知や普及啓発のための新聞広告、テレビスポット、SNS広告等による広報を媒体の特性を考慮して適時に実施した。					
媒体	区分	概要			
新聞	新聞広告(全5段)	<ul style="list-style-type: none"> ・「クラスター予防啓発(新型コロナ克服3か条等)」及び「新型コロナからみんなを守る鳥取県民宣言」の周知 ・「鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例」の周知、クラスターを発生させないための事業者、利用者への注意喚起、人権尊重が感染拡大を防ぐことについての啓発 ・「新型コロナウイルスに関する差別的扱いや誹謗中傷から陽性者等を守る共同行動宣言」と人権相談窓口の広報 			
テレビ	スポット広告(15秒)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ克服3か条を周知し、「人との距離を取る」「手洗い、マスクの着用」「密閉、密集、密接を避ける」こと、会食などで大声を出すことを控えることがクラスター予防につながることを啓発 			
SNS・WEB	LINE、Yahoo!ディスプレイ、Googleディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の周知について画像とテキストを組み合わせた広告を配信 ・県内でのコロナウイルス陽性者急増に伴う「予防厳重強化月間宣言」発令と感染予防対策の徹底について画像とテキストを組み合わせた広告を掲載 			
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化していく新規陽性者の確認状況をふまえ適時の内容の広報となるよう、媒体の特性も考慮しながら情報の受け手を意識した表現(わかりやすい文章、レイアウト等)の工夫に取り組んだ。 					
ウ 成果及び効果					
<p>クラスターの予防啓発や新たに制定された条例の内容の周知、人権への配慮についての普及啓発、県内で新型コロナウイルス陽性者が増加していることについての注意喚起など、日々変化していく状況の中で、適時に県民に必要な情報を伝えることのできる広報媒体を活用して、県民への周知を図った。</p>					
エ 課題					
関係部局と一層連携を図りながら、今後も適時適切な広報に努めていく。					

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務費国庫補助 金	0	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0	0	
	物品売払収入	61,000	0	0	61,000	103,700	103,700	0	0	
	雑入	150,000	0	0	150,000	151,800	151,800	0	0	
	合 計	211,000	3,000,000	0	3,211,000	3,255,500	3,255,500	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	一般管理費	0	0	0	937,964	937,964	937,964	937,964	0	0	0	
	広報費	289,095,000	△2,471,000	0	0	286,624,000	274,216,821	272,216,821	2,000,000	0	12,407,179	
	合 計	289,095,000	△2,471,000	0	937,964	287,561,964	275,154,785	273,154,785	2,000,000	0	12,407,179	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及 び繰越事 業費繰 越 額	予 備 費 支出及び 流用増減	計 A					
(一般管理費) 赴任旅費	0	0	0	937,964	937,964	937,964	0	0	100%	所管換配当
目 計	0	0	0	937,964	937,964	937,964	0	0		
(広報費) (主)県政だよ り広報費	47,049,000	0	0	△333,556	46,715,444	42,698,988	0	4,016,456	91.4 %	主な事業に関する調べのとおり 広報活動管理費、新型コロナウイルス 克服県民運動推進事業へ流用
(主)新聞テレ ビ等広報費	114,897,000	0	0	△256,500	114,640,500	112,190,675	0	2,449,825	97.9 %	主な事業に関する調べのとおり 広報活動管理費へ流用
広報活動管理 費	20,494,000	0	0	541,665	21,035,665	20,651,329	0	384,336	98.2 %	県政だより広報費、新聞テレビ等広報 費から流用
<p>報道機関に対して、記者発表・資料提供を行うほか、知事定例会見の動画配信等をはじめ報道機関へ提供した資料をとりネットに掲載し、県政に関する積極的な情報提供を行った。</p> <p>知事定例会見では、手話通訳者を配置し、ろうあ者に対してリアルタイム及び録画での情報発信を行うとともに、どなたでも文字情報として閲覧可能となるように、各回とも会見録をとりネットへ掲出した。</p>										
	区分	知事定例会見	記者発表	資料提供						
	件数	23	24	2,306						
(主)インター ネット広報費	11,297,000	△471,000	0	△70,410	10,755,590	9,827,770	0	927,820	91.4 %	主な事業に関する調べのとおり 新型コロナウイルス克服県民運動推進 事業へ流用
(主)とっとり 情報発信費	67,437,000	△5,000,000	0	△137,699	62,299,301	58,163,810	0	4,135,491	93.4 %	主な事業に関する調べのとおり 新型コロナウイルス克服県民運動推進 事業へ流用
広報連絡協議 会運営支援事 業	27,466,000	0	0	0	27,466,000	27,400,749	0	65,251	99.8 %	

鳥取県広報連絡協議会の活動に対して、事業費を支援した。

<鳥取県広報連絡協議会の活動内容>

(1) 県総合情報誌『とっとりNOW』の発行

鳥取県のイメージアップを図るため、本県の優れた自然、歴史、産業、文化など幅広い分野にわたる情報を盛り込んだ県総合情報誌『とっとりNOW』を季刊で発行(書店、コンビニエンスストア等で販売するほか、ふるさと鳥取ファンクラブ会員への特典送付、とっとりふるさと大使や観光案内所等に無償送付)

号数	発行日	発行部数	仕様・企画	配布先
126号	6月1日	9,000部	A4判 36頁	・県内書店、セブンイレブン等で販売 ・ふるさと鳥取ファンクラブ会員等に定期送付 ・マスコミ関係者、とっとりふるさと大使などのオピニオンリーダー、図書館、観光案内所に配布
127号	9月1日	9,000部		
128号	12月1日	9,000部		
129号	3月1日	9,000部		

(2) 広報講座の開催

広報連絡協議会会員(県・市町村・企業等43団体)を対象に、広報誌制作技術向上などの広報講座(1回、ツイッターの活用法)を開催した。

(3) チラシ改善相談の実施

庁内各課、協議会会員等を対象に、個別面談形式による相談を随時実施し、広報誌やチラシ、広告の内容精査、レイアウトの提案等を行った。(19機関)

(4) ふるさと鳥取ファンクラブの運営

鳥取県を愛する全国の人々で構成する「ふるさと鳥取ファンクラブ」の会員を対象に、『とっとりNOW』や『ファンクラブ通信』、パンフレットを送付した。

会員数	会費	会員特典
1,204人 (令和2年度末)	普通会員 2年間 2,000円	『とっとりNOW』、観光文化施設「利用引換券」の送付、協賛店割引など
	特別会員 5年間 10,000円	上記に加え、ファンクラブ通信に御芳名記載
454人 (令和2年度末)	ふるさと会員 1年間 10,000円以上のふるさと納税者	『とっとりNOW』送付

「伝わる広報」促進事業	455,000	0	0	0	455,000	30,000	0	425,000	6.6%
-------------	---------	---	---	---	---------	--------	---	---------	------

対象者に必要な情報が適切なタイミングで届き、その情報が容易に理解され、具体的な行動につながるよう、広報推進員を通じて各所属の広報力の底上げを図った。

- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、広報推進員等を対象にした広報力向上研修をオンライン実施としたため不用額が生じた。

(主)新型コロナウイルス克服県民運動推進事業事業	0	3,000,000	0	256,500	3,256,500	3,253,500	0	3,000	99.9%	主な事業に関する調べのとおり 県政だより広報費、インターネット広報費、とっとり情報発信費から流用
目 計	289,095,000	△2,471,000	0	0	286,624,000	274,216,821	0	12,407,179	95.7%	
合 計	289,095,000	△2,471,000	0	937,964	287,561,964	275,154,785	0	12,407,179	95.7%	

8 予備費の充用調べ

該当なし

9 繰越関係調べ

該当なし

10 収入証紙取扱調べ

有 ・ 無

11 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

該当なし

(2) つり銭の状況

該当なし

12 財産に関する調べ

(1) 公有財産

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
11枚	0枚	0枚 0円	11枚

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

該当なし

14 借受不動産明細調べ

該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

17 備品の処分状況調べ

該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ

該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし